

年間指導計画(シラバス)

令和4年度 普通科



SHINMINATO HIGH SCHOOL

富山県立新湊高等学校

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	国語	科目	現代の国語	
学習教材		現代の国語(大修館書店)								
学習目標		(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけることができる。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。								
単元と内容										
1 学 期	「白紙」 「伝える・伝え合う」 「水の東西」 「伝わるように話す」 「わかりやすく書く」 「発想を広げる」 「意見を書く」 「論理をとらえる」 「工夫して話す」	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。 ・具体例の役割や対比の関係をとらえ、文章の要点を的確につかむ。 ・話し言葉の特徴をふまえて話したり、聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝えたりする。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるようにわかりやすく書く。 ・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・構成や展開を意識し、根拠を明確にして、自分の意見を書く。 ・「動的平衡としての生物多様性」を読み、主張と根拠、理由づけの関係をとらえるとともに、文章の論理をとらえる。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方を意識して話したり聞いたりする。 								
	2 学 期	「資料と文章の関係を読む」 「統計資料をもとに意見を書く」 「目的に沿った質問をする」 「状況に応じた通信文を書く」 「文章を比較して読む」 「説得力のある資料をつくる」 「資料を用いて発表する」	<ul style="list-style-type: none"> ・「インターネット時代の音楽産業」を読み、資料と文章の情報を相互に関係づけながら、情報を読み取る。 ・統計資料を正確に読み取り、読み取った情報を組み合わせたり、比較したりして、的確な主張を生み出す。 ・質問の目的を明確にし、知りたかったことへの理解を深める。 ・通信文の基本を知り、相手や場面に応じた通信文を書く。 ・「空気を読む」「『個人』から『分人』へ」を読み、複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 ・提案を検討する際に必要な要素を押さえ、効果的な表現や資料提示のしかたを工夫する。 ・聞き手の心を動かす話し方を工夫し、資料に基づき効果的に発表する。 							
		3 学 期	「根拠を吟味して読む」 「討論をする」 「主体的に読む」 「結論を出すために話し合う」 「レポートを書く」	<ul style="list-style-type: none"> ・「言語についての新しい認識」を読み、文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 ・討論の流れや各自の役割を理解し、考えが伝わるよう発言する。 ・文章から必要な情報を読み取り、読み取った情報を活用する。 ・結論を出すための話し合いの工夫について理解を深め、結論の出し方を工夫して話し合う。 ・適切な情報を集めて問いを立てるとともに、調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。 						
評 価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック							
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末			
①	知識・技能	・実社会に必要な国語の知識や技能を習得している。	○	○	○	○	○			
②	思考・判断・表現	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができる。	○	○	○	○	○			
③	主体的に学習に取り組む態度	・授業内で自分がやるべきことを探し、粘り強く課題に取り組む。 ・授業から新たな疑問を見つけることができる。		○		○	○			
評価方法	①		②		③					
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検	㊦定期考査 ㊧授業で作成した作品(レポート、意見文など)	㊦ワンペーパーポートフォリオ ㊧ルーブリックによる相互評価 ㊨各種課題提出状況 ㊩話し合い活動への参加状況							

令和4年(2022年)度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	普通科	単位	3	教科	国語	科目	言語文化
学習教材	高等学校 言語文化(数研出版)								
学習目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わることができる。								
単元と内容									
1学期	<ul style="list-style-type: none"> 宇治拾遺物語・竹取物語 羅生門 漁夫之利・狐借虎威 徒然草 	<ul style="list-style-type: none"> 古典読解のために必要な文語や訓読のきまり、漢文の特徴や書き下し文の決まりを理解する。 「読むこと」において、文章に書かれた人物像や心情を、表現に即して読み味わう。 文学作品に触れることで語感を磨き、語彙を豊かにする。 「読むこと」において、本文と典拠作品を比較して意見交換を行い、自分の考えを広げたり、深めたりする。 「読むこと」において、筆者の無常観を反映した理想的生活と、それにまつわる感情の変化を読み取る。 							
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 側転と三夏 万葉集・古今和歌集 新古今和歌集・短歌 伊勢物語 管鮑之交・先従隗始 枕草子 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、登場人物の性格の違いを描写から読み取る。また、主人公の心情の変化を整理する。 時代ごとの短歌の特徴や技法、構成について理解する。 「読むこと」において、それぞれの短歌が描く情景や心情、世界観を読み味わう。また、和歌の解釈を通して、物語中の登場人物の置かれた状況や心情を読み取る。 「読むこと」において、登場人物の人間関係を描写から読み取り、整理するとともに、文章中に登場する例話が暗示する内容について理解する。 「書くこと」において、参考作品の章段構成を基に、自分の知識や体験を題材とした随筆を書く。 							
3学期	<ul style="list-style-type: none"> サーカス・I was born 俳句 漢詩 奥の細道 論語 	<ul style="list-style-type: none"> 現代詩の形式や表現技法について理解する。 「読むこと」において、それぞれの作品に描かれた生き方や考え・心情を読み取り、感じたことや考えたことを文に書く。 漢詩のルールや形式、表現技法を学ぶ。 「読むこと」において、作品の情景や心情を読み取る。 「読むこと」において、作者の旅に対する思いをまとめる。 「読むこと」において、孔子の理想とする生き方や人との関わり方を読み取り、整理する。 							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 古典作品を読むために必要な基本的な知識を習得し、読解や解釈に取り組むことができる。 作品の成立背景について知識を深めるとともに、内容をおおむね理解することができる。 	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 文章中のものの見方・感じ方・考え方をとらえ、自分なりの意見を持つことができる。 既存の作品の文章構成を参考にして、自分の体験や気持ち・考えを書くことができる。 	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で自分がやるべきことを探し、粘り強く課題に取り組む。 授業から新たな疑問を見つけることができる。 		○		○	○		
評価方法	①		②		③				
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検		㊦定期考査 ㊧授業プリント		㊦ワンペーパーポートフォリオ ㊧ルーブリックによる相互評価 ㊨各種課題提出状況 ㊩話し合い活動への参加状況				

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	地理歴史	科目	地理総合	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「高等学校 新地理総合」帝国書院 地図帳「新詳高等地図」帝国書院 資料集「新編地理資料2022」東京法令出版 									
学習目標	<p>(1) 地図の基礎からGISの活用方法を習得し、様々な地図から世界の結びつきを考察できる。</p> <p>(2) 世界各地の生活文化を通して、国際理解を深めることができる。地球的課題の解決に向けた国際協力のあり方を考察できる。</p> <p>(3) 災害のメカニズムから対策までを考察できる。地域調査の手法を習得できる。</p>									
単元と学習内容										
1学期	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 現代世界の国家と領域 グローバル化する世界 生活文化の多様性 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 			<p>緯度や時差の違いが私たちの生活にどのような影響を与えているか。地図や地図情報システムにはどのような役割や種類があるだろうか。また、私たちの生活にどのように役立っているのだろうか。国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。また、日本の位置と領域にはどのような特徴があるのだろうか。世界の国々は貿易、交通、通信、観光などの要素によってどのように結びついているのだろうか。人々は地形とどのように関わっているのだろうか。人々の生活は気候要素とどのように関わっているのだろうか。言語や宗教は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p>						
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活 地球的課題と国際協力 			<p>歴史的背景は人々の生活文化にどのような影響を与えてきたか。産業の発展は人々の生活にどのような影響を与えてきたか。現代の地球的課題の背景には何があるだろうか。世界ではどのような地球環境問題が見られ、どんな取組が行われているだろうか。世界の資源やエネルギーの利用にはどのような課題があるだろうか。国や地域によってどのような人口問題があり、どんな対策が行われているだろうか。食料問題を解決するためにはどのような取組が必要だろうか。国や地域によってどんな都市・居住問題があるだろうか。</p>						
3学期	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境と防災 生活圏の調査と地域の展望 			<p>日本の地形や気候にはどのような特徴があるだろうか。地震や津波はどのような被害をもたらすだろうか。火山はどのような恵みや災害をもたらすだろうか。気象災害にはどのような種類があり、どのような備えが必要だろうか。災害発生時の危機管理体制はどのように整備されているだろうか。</p>						
評価										
評価の観点		到達度目標「[B](おおむね満足できる)の規準」				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組について理解できる。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる事象の意味や意義、特色を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察できる。 地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりできる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚を深めようとしている。 					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	⑦定期考査 ⑧副教材問題集解答 ⑨ノート点検			⑦定期考査 ⑧授業プリント			⑦自作問題等のプレゼンテーション ⑧各種提出状況 ⑨討論への参加状況			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	地理歴史	科目	歴史総合	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「歴史総合 近代から現代へ」山川出版社 ・「歴史総合資料集」山川出版社 ・「歴史総合用語解説」山川出版社 									
学習目標	(1) 生活や社会の変容について、資料から情報を読み取ったりまとめたりできる。 (2) 生活や社会の変容について、論理的に考察し、問いを表現することができる。 (3) 近現代の歴史の諸事象と現代との関わりを考え、授業から新たな疑問や課題を見つけだすことができる。									
単元と学習内容										
1学期	近代化と私たち ・結びつく世界 ・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・明治維新と日本の立憲体制 ・帝国主義の展開とアジア ・近代化と現代的な諸課題	18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係 イギリスに始まる産業革命が、世界各地の社会や経済に与えた影響とアジアと欧米の関係の変化 国民国家誕生の経緯と、国民統合の進展が人々に与えた影響 帝国主義政策が国際社会に与えた影響 産業革命に始まる工業化が人々にもたらした課題								
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦 ・戦後の国際秩序と日本の改革 ・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	第一次世界大戦開戦までの経緯とその被害 大量生産や大量消費が国民生活に与えた影響 世界恐慌とその後の各国の対応が第二次世界大戦に与えた影響 第二次世界大戦後の国際社会でおこった対立とその影響 冷戦下における日本に期待された役割 近代オリンピックにおける「平等」と「格差」の問題								
3学期	グローバル化と私たち ・冷戦と世界経済 ・グローバル化する世界 ・現代の課題 ・現代的な諸課題の形成と展望	冷戦が各国経済に与えた影響と地域紛争による課題 市場経済のグローバル化や経済自由化が世界経済に与えた影響 複雑に絡み合う現代の諸課題への対応 持続可能な社会の実現のために解決されなければならない課題								
評価										
評価の観点		到達度目標「[B] (おおむね満足できる) の基準」				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代における事実に基づく知識を習得し、関係図などの概念的な理解と結びつけることができる。 ・資料から読み取れることなどを、他者との意見交換をとおして自分の考えに反映できる。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象のもつ意味や事象間の関係性について、知識や概念、資料を根拠に説明できる。 ・「因果関係」「視点の転換」「史料の作り手の意図や背景」「比較」などから問いを表現できる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の諸課題と近現代の歴史事象との関連を自分の言葉で説明する。 ・現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を問題意識をもって考察する。 					○		○	○
評価方法	①		②			③				
	⑦定期考査 ⑧小テスト ⑨ノート点検		⑦定期考査 ⑧課題レポート			⑦ワーカーポートフォリオ ⑧ルーブリックによる相互評価 ⑨各種提出状況 ⑩討論への参加状況				

令和4年(2022年)度 年間授業計画表

学年	1	科・系	普通科	単位	3	教科	数学	科目	数学 I	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「NEXT 数学 I」数研出版 ・「CONNECT 数学 I 完成ノート 新課程」数研出版 ・「チャート式 解法と演習 数学 I +A 新課程」数研出版 									
学習目標	<p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を身につける。</p> <p>(2) 物事を多面的に捉え、目的に応じて適切に変形する力、社会の事象などに関連付けて、論理的に考察し表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを活用していこうとする態度を養う。</p>									
単元と内容										
1 学 期	第1章 数と式 式の計算 実数 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の整理、式の展開、公式やたすき掛けを利用した因数分解を理解する。 ・実数の分類、絶対値の性質、根号を含む四則演算、分母の有理化ができる。 ・解の意味を理解して1次不等式、連立不等式を解く。絶対値の定義や性質をもとに、絶対値を含む方程式・不等式を解く。 ・集合の記号や性質の確認。命題とその逆・裏・対偶などの真偽の関係について理解する。 ・関数についての理解を深める。2次関数を式変形(平方完成)してグラフをかく。 ・2次関数のグラフを利用して、最大値・最小値を求める。 ・2次関数のグラフと x 軸の位置関係を利用し、2次不等式を解く。 								
	第2章 集合と命題 第3章 2次関数 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式									
2 学 期	第4章 図形と計量 三角比 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比についての理解を深め、三角比の相互関係を理解する。 ・正弦定理、余弦定理、面積の公式を利用して、辺や角、面積を求める。空間図形では、空間図形の中の平面図形に着目する。 ・データを整理、比較する方法を理解する。 ・データの散らばりを計算で求め、散らばり度合いを判断する。 ・相関係数の意味を理解し、それを利用してデータの相関を捉えて説明できるようにする。 								
	第5章 データの分析									
評 価										
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の基準	評価のフィードバック							
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末			
①	知識・技能	・各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。	○	○	○	○	/			
②	思考・判断・表現	・目的に応じて適切に式を変形することができる。 ・事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。	○	○	○	○	/			
③	主体的に学習に取り組む態度	・問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 ・問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。		○		○	/			
評価方法	①		②			③				
	㊦ 定期考査 ㊧ ノート点検	㊦ 定期考査 ㊧ グループワーク	㊦ 各種課題提出状況 ㊧ グループワーク ㊨ 振り返りシート ㊩ ノート点検							

令和4年(2022年)度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	理科	科目	化学基礎
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「化学基礎」実教出版 ・「インプレス化学基礎ノート」浜島書店 								
学習目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解を深め、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身につけて適切に使用することができる。 (2) 見通しをもって観察、実験などを行い、結果を分析して解釈し、表現することができる。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、課題を見つけ、科学的に探究することができる。								
単元と学習内容									
1学期	序章 物質と化学 1章 物質の構成 1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子 2章 物質と化学結合 1節 イオン結合	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会を支える物質の利用と化学が果たしている役割 ・混合物の分離方法と純物質の成り立ち、元素の確認方法 ・粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係 ・原子の構造及び陽イオン、陰イオンの生成の仕組み ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係 ・イオン結合とイオン結晶の組成式及び性質と代表的な物質 							
2学期	2章 物質と化学結合 2節 共有結合と分子間力 3節 金属結合 4節 化学結合と物質 3章 物質の変化 1節 物質量と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・共有結合と分子の分子式や構造式及び分子からなる物質の性質 ・共有結合からなる代表的な物質の特徴 ・金属元素の結合と性質と種々の金属や合金について ・化学結合によってできた結晶の性質や構成粒子について ・相対質量を用いた原子や分子の質量の表し方 ・物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係 ・体積モル濃度を用いた溶液の濃度の表し方 ・量的関係に注目した化学反応式の書き方 							
3学期	3章 物質の変化 2節 酸と塩基 3節 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の定義と価数及び酸・塩基の強弱と電離度の関係 ・水素イオン濃度とpH、酸性・塩基性の大小の関係 ・中和反応と塩の生成及び中和反応の量的関係の計算 ・酸素、水素、電子の授受による酸化反応・還元反応 ・酸化数の求め方、酸化数の増減と酸化・還元の関係 ・酸化剤・還元剤の定義、イオン化傾向と反応性の関係 ・酸化還元反応の利用とその仕組み 							
評価									
評価の観点		到達度目標「[B](おおむね満足できる)の規準」	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・物質とその変化について理解するとともに、習得した知識を用いて考えることができる。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本的な技術を適切に用いることができる。 	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物質についての観察や実験を行い、結果を分析して表現するなど、科学的に探究する活動ができる。 ・物質とその変化に関する課題に対して、習得した知識を基に考察し、自分の考えを表現することができる。 	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的な探究活動ができる。 		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨提出物		㊦定期考査 ㊧授業プリント ㊨実験レポート			㊦授業プリント ㊧実験レポート ㊨各種課題提出状況			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	3	教科	保健体育	科目	体育	
学習教材		<ul style="list-style-type: none"> ・現代高等保健体育(大修館書店) ・2022保健体育簿(富山県高体連) 								
学習目標		<p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝えるコミュニケーション能力の伸長を図ることができる。</p> <p>(3) 運動の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力するなどの調和のとれた豊かな人格の形成を図るとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができる。</p>								
単元と内容										
1 学 期	体づくり運動		<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方などを理解するとともに、自己の体力に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる。 ・記録の向上や競争及び課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ・状況に応じたボール操作や連携した動きを習得するとともに、攻防をして、ゲームを展開する。 							
	以下、同じ印から選択(☆○△□) ☆陸上競技・短距離走、 リレー、ハードル走 ☆球技・バレーボール									
	2 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動は1学期と同じ ・記録の向上や競争及び課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、体力の高め方、課題解決の方法などを理解するとともにペースの変化に対応して走る能力を身に付ける。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって攻防をして、ゲームを展開する。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク・サービスなどの安定したシャトル操作やダブルスにおけるパートナーとの連携した動きを高めて、ゲームを展開する。 ・柔道・剣道を通し、我が国固有の伝統と文化に一層触れることができるようにするとともに、基本的技能を習得する。 ・感情を込めて踊ったり仲間と自由に踊ったりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう。 ・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行い、それらを構成し演技する。 							
3 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ○球技・サッカー ○球技・バドミントン ○武道 △ダンス・創作ダンス △器械運動・マット運動、 跳び箱運動 		<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたパスやドリブル、シュートなどのボール操作と、チームで連携したプレイを使ってスペースに応じた攻防を展開する。 ・マット運動、バドミントンは2学期と同じ ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通してスポーツに関する能力を身に付ける。 						
評 価										
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の基準]				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。 ・基本的な技能を身に付けている。 					○		○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに考えたことを他者に伝えている。 					○		○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動に積極的に取り組もうとしている。 ・演技などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 					○		○	○
評価方法	①		②			③				
	⑦学習カード ①観察 ⑦記録・実技テスト		⑦学習カード ①観察			⑦学習カード ①観察				

令和4年(2022年)度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	普通科	単位	1	教科	保健体育	科目	保健
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・現代高等保健体育(大修館書店) ・図説現代高等保健(大修館書店) 								
学習目標	<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、健康に関する技能を身に付けることができる。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。</p>								
単元と内容									
1 学期	現代社会と健康	<p>現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、以下に示した項目のそれぞれに対応する知識や考え方、技能などを身に付ける。また健康や安全に関する原則や概念に着目して課題解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>「健康の考え方と成り立ち」「私たちの健康のすがた」 「生活習慣病の予防と回復」「がんの原因と予防」「がんの治療と回復」「運動と健康」「食事と健康」「休養・睡眠と健康」</p>							
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復 ・現代の感染症とその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 	<p>「喫煙と健康」「飲酒と健康」「薬物乱用と健康」</p> <p>「精神疾患の特徴」「精神疾患の予防」「精神疾患からの回復」 「現代の感染症」「感染症の予防」「性感染症・エイズとその予防」 「健康に関する意思決定・行動選択」「健康に関する環境づくり」</p>							
3 学期	安全な社会生活	<p>安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、以下に示した項目のそれぞれに対応する知識や考え方、技能などを身に付ける。また健康や安全に関する原則や概念に着目して課題解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>「事故の現状と発生要因」「安全な社会の形成」「交通における安全」 「応急手当の意義とその基本」「日常的な応急手当」「心肺蘇生法」</p>							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊦ワークシート ㊦観察 ㊦実習での技能習得状況 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊦ワークシート ㊦観察 			<ul style="list-style-type: none"> ㊦ノート点検 ㊦授業プリント等の提出状況 ㊦観察 ㊦実習などへの参加状況 			

令和4年（2022年）度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	芸術	科目	音楽 I	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「MOUSA1」教育芸術社 ・「Music Note 基礎から学ぶ高校音楽」啓隆社、「世界の歌声」教育芸術社 									
学習目標	<p>(1) 音楽の多様性について理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付け、表現活動に生かすことができる。</p> <p>(2) 音楽を形づくっている要素とその働きについて考え、表現意図をもつとともに、音楽を評価しながらよさや美しさについて味わって聴くことができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むとともに、感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を養う。</p>									
単元と内容										
1 学期	正しい発声法を身に付けよう	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や体の使い方、発声の仕組みについて理解を深め、歌唱に生かすことができる。曲想と歌詞の内容がどのようにかかわっているかを感じ取る。校歌/Lemon/翼をください/負けなで 								
	ボディー・パーカッションに挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディー・パーカッションを、音色を工夫しながら演奏する。イメージをもってアンサンブルに参加する。ソルフェージュ/Plymouth Rock/Clap tap with Cups 								
	歌曲に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのようにかかわっているかを感じ取る。歌と伴奏の役割を理解して独唱できる。この道/花/野ばら/Caro mio ben 								
2 学期	楽器による表現上の効果を感じ取ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する。楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取る。動物の謝肉祭/交響曲第9番/ピアノ第23番ほか 								
	表現を工夫して合唱をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートの役割やハーモニーを意識して合唱の喜びを味わう。楽曲の特徴を理解し、曲にふさわしい表現方法を考える。故郷/言わない/COSMOS 								
	和楽器に親しみ、音階を選んで旋律をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器の音色や奏法の特徴を理解して演奏する。音階の雰囲気を感じ取り、イメージにあった旋律を創作することができる。日本の伝統音楽の特徴と表現上の効果を感じ取り、批評したり感想を述べたりする。太鼓/篠笛/三味線/箏から適宜選択 								
3 学期	ヴァイオリンに挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリンの構造と奏法の特徴を理解し、楽曲演奏に生かすことができる。キラキラ星変奏曲 								
	能や謡に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・謡の発声や歌唱法について学習し、表現を工夫して謡う。能の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、よさを味わう。 								
	ミュージカルナンバーを歌おう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と歌詞の内容や楽曲背景とのかかわりを感じ取り、イメージをもち、楽曲にあった表現を工夫する。Memory/美女と野獣 								
ポピュラー音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズやロックを形づくっている要素及び奏法について理解する。主体的、積極的に演奏し、各パートの役割やハーモニーを意識してアンサンブルの喜びを味わう。枯葉/Rock History 									
世界の諸民族の音楽に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・国や地域の音楽的特徴、曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり、文化的・歴史的背景を理解して鑑賞する。音楽の多様性について理解を深める。京畿道アリアン/美しいエンタール/世界の諸民族の音楽 									
評価										
評価の観点		到達度目標「[B]」(おおむね満足できる)の基準]				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 				○	○	○		○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 					○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 				○		○	○	○
評価方法	①		②			③				
	⑦ペーパーテスト		⑦発表			⑦授業態度				
	⑧実技試験		⑧ワークシート、ノート			⑧学習の取り組み状況(観察、聴取)				
⑨作品提出、ワークシート		⑨学習の取り組み状況(観察、聴取)			⑨ノート(自己評価)					

令和4年（2022年）度 年間授業計画表

学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	芸術	科目	美術 I
学習教材	・教科書「高校生の美術 I」日本文教出版								
学習目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 (2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。								
単元と内容									
1 学期	「鉛筆一本で」 「立体的に描く」 「身近なものを描く」 「墨表現の可能性」 「きつときとの魚」	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆描写の基礎 ・三点透視図法・陰影 ・鉛筆デッサン（葉、煮干しなど） ・水墨画の技法演習 ・水墨画作品の鑑賞と模写 ・水墨画作品制作 							
2 学期	「美術館に行こう」 「好きな色いろいろ」 「和紙の可能性」 「プレゼンボードでPR」	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館での作品鑑賞 ・三原色、トーンの理解と混色 ・和紙商品の開発 ・デザインの基礎 ・プレゼンボードの制作 							
3 学期	「油絵とは？日本画とは？」 「季節のイメージ」	<ul style="list-style-type: none"> ・油絵と日本画の鑑賞と画材について ・油絵作品の制作 ・友達の作品鑑賞 							
評 価									
評価の観点		到達度目標 [「B」(おおむね満足できる)の基準]					評価のフィードバック		
							1期末	2期末	学年末
①	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩や構図や配色など造形の要素の働きや、それらを基に全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 					○	○	○
②	思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画表現では、感じ取ったことや考えたこと等から、主題を生成し、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・絵画作品の鑑賞では、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫等について考え、見方や感じ方を深めている。 ・デザイン表現では目的や条件、美しさなどを考えて主題を生成し、機能や効果等について考え、創造的な表現の構想を練っている。 ・デザイン作品の鑑賞では、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫等について考え、見方や感じ方を深めている。 					○	○	○
③	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画表現の創造活動や、作品や美術文化の鑑賞の創造活動に、主体的に、試行錯誤や工夫を繰り返して、時間の限り粘り強く取り組もうとしている。 					○	○	○
評価 方法	①		②			③			
	㊦ワークシート ㊧レポート ㊨技法練習用紙 ㊩作品		㊦ワークシート ㊧レポート ㊨作品			㊦観察 ㊧振り返り用紙 ㊨レポート ㊩コメント用紙			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	芸術	科目	書道 I	
学習教材		・教科書「書 I」光村図書								
学習目標		(1) 書の表現方法や形式、多様性について、書の創造的活動を通して幅広く理解し、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づいて効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けることができる。 (2) 書の良さを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。								
単元と学習内容										
1 学期	書へのいざない ・書写から書道へ ・用具、用材、表現方法 漢字の書の学習 ・書体の移り変わり ・楷書の古典に学ぼう ・行書の古典に学ぼう			<ul style="list-style-type: none"> ・書写と芸術科書道の違い ・筆、墨、紙、硯の種類 ・基本的な書道用語 ・漢字の五書体の変遷、仮名の誕生 ・楷書、行書の特徴と古典臨書 ・楷書、行書の、用筆法、運筆法、字形の取り方 ・楷書、行書の古典の観賞 						
	2 学期	漢字の書の学習 ・隷書に親しもう ・篆書に親しもう ・篆刻を学ぼう 仮名の書の学習 ・仮名の成立 ・仮名の基本を学ぼう 仮名の基本線 平仮名と変体仮名 ・仮名の古典を学ぼう			<ul style="list-style-type: none"> ・隷書、篆書の特徴と古典臨書 ・隷書、篆書の用筆法、運筆法、字形の取り方 ・書道における篆刻の意義、制作方法 ・氏名印の制作と押印 ・仮名の成立と変遷、種類 ・用具、用材の使い方 ・仮名の書独特の筆使いと基本用筆 ・仮名の単体や連綿、全体構成 ・仮名の古筆臨書 ・仮名独特の流動美や紙面構成、表現 					
		3 学期	漢字仮名交じりの書の学習 ・創作しよう			<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や仮名の古典を生かした表現の工夫 ・文字と余白の関係、全体構成を考えた表現、著作権 ・創作作品の作成、鑑賞、発表 				
評 価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現方法や形式、多様性を、書の創造的活動を通して幅広く理解し、書の伝統に基づいて効果的な技術を身に付けている。 					○		○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・書の良さや美しさを味わうとともに、意図に基づいた構想や表現の効果を理解し、書の伝統と文化の意味を考えて書の活動に生かしている。 					○		○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統と文化に親しみ、主体的に書の幅広い活動に取り組もうとしている。 					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	㊦提出作品 ㊧確認プリント ㊨臨書レポート ㊩観察			㊦臨書レポート ㊧提出作品 ㊨鑑賞カード ㊩観察			㊦制作カード ㊧臨書レポート ㊨鑑賞カード ㊩観察			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	4	教科	外国語	科目	英語コミュニケーションI	
学習目標		(1) 文章や会話などを聞いたり読んだりして、情報や考えなどの要点を捉えることができる。 (2) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを論理性に注意して、話し合ったり伝えたりすることができる。 (3) 語句や文の構造などに注意しながら、60語程度の英文を書くことができる。								
単元と内容										
1 学期	Lesson 1 Words to Live By			<ul style="list-style-type: none"> ことばには人を勇気づける力があることについて理解を深め、生きる上での言葉の大切さについて考える。 						
	Lesson 2 My English Experience			<ul style="list-style-type: none"> 英語が役立つ場面について理解を深め、英語を学ぶ意義について考える。 						
	Lesson 3 Our Feline Friends			<ul style="list-style-type: none"> ネコと人間の関わりやネコの生態について理解を深め、ペットとしての動物について考える。 						
	Lesson 4 Work in the Future			<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化と職業の関係について理解を深め、将来の職業選択について考える。 						
2 学期	Lesson 5 My Favorite Food: Rice			<ul style="list-style-type: none"> 日本や海外でのお米の文化について理解を深め、効果的なプレゼンテーションの仕方について考える。 						
	Lesson 6 A Long Way Home			<ul style="list-style-type: none"> 人の運命的な経験について理解を深め、人の心の動きや行動について考える。 						
	Lesson 7 Can You Read Faces?			<ul style="list-style-type: none"> 顔の表情の持つ意味について理解を深め、人と人とのコミュニケーションの在り方について考える。 						
	Lesson 8 Make People Shine: Chore-director, MIKIKO			<ul style="list-style-type: none"> スペシャリストの仕事に対する考え方について理解を深め、将来の生き方について考える。 						
3 学期	Lesson 9 Our Desire to Fly			<ul style="list-style-type: none"> 人類と飛行の歴史について理解を深め、人間の努力と文明の発達について考える。 						
	Lesson 10 Loving the Earth			<ul style="list-style-type: none"> 環境保護への人間の取り組みについて理解を深め、自分たちに今何ができるかについて考える。 						
評 価										
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の基準]				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 文の構造や内容を理解することができる。 情報や考え、気持ちなどを適切に伝えることができる技能を身に付けている。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 文章の概要や要点を捉えることができる。 基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いたり、話したりして伝えることができる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 文章の概要や要点を捉えようとしている。 クラスメイトにわかるように、題材についての情報や考え、気持ちなどを伝えようとしている。 					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	ア 定期考査 イ 小テスト ウ 提出物			ア 定期考査 イ 授業プリント ウ パフォーマンステスト			ア 授業での発表 イ 相互評価 ウ 提出物 エ ペアワークなどの参加状況			

令和4年(2022年)度 年間授業計画表										
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	外国語	科目	論理・表現 I	
学習目標		日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、 (1) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。 (2) 聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができる。 (3) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。								
単元と内容										
1 学期	Lesson 1 My Hero Lesson 2 Weather Forecast for Tomorrow Lesson 3 Tips on Visiting a Japanese Temple Lesson 4 The Key to Learn <i>Kanji</i>	<ul style="list-style-type: none"> 現在と過去を表す文の理解を基に、あこがれの人について、わかりやすく的確に紹介する。 未来を表す文の理解を基に、外国からきたお客さんと過ごす週末の予定を伝える。 助動詞を使った文の理解を基に、富士登山の際の注意事項について発表する。 完了形を使った文の理解を基に、これまで経験したことについて友人に尋ねたり、紹介したりする。 								
2 学期	Lesson 5 Home-Made Bread Lesson 6 Guinness World Records Lesson 7 Japanese Bentos Are Cool! Lesson 8 Ready for Disasters Lesson 9 Useful Ads on the Internet Lesson 10 Who's the Girl Walking with You?	<ul style="list-style-type: none"> 受動態を使った文の理解を基に、これまで経験したことについて友人に尋ねたり、紹介したりする。 比較級、最上級を使った文の理解を基に、好きな日本の食べ物について紹介する。 同等比較、倍数比較を使った文の理解を基に、食品ロスを減らす方法について、グラフの情報と合わせて発表する。 動名詞、to不定詞①(名詞的用法)を使った文の理解を基に、災害への備えや発生時に必要なことについて紹介する。 to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を使った文の理解を基に、留学先に持っていきたいおみやげについて紹介する。 分詞を使った文の理解を基に、身の回りで起こったことについて、順序立てて説明する。 								
3 学期	Lesson 11 Going on a Factory Tour! Lesson 12 A Sightseeing Spot to recommend Lesson 13 If I Were Good at Cooking Lesson 14 The Best Place for the Holiday	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞を使った文の理解を基に、オリジナル製品のアイデアについて発表する。 関係副詞を使った文の理解を基に、おすすめの観光地について、その魅力が伝わるように説明する。 仮定法を使った文の理解を基に、悩みや後悔について、友だちからもらった助言を発表する。 接続詞を使った文の理解を基に、春休みに行きたい場所について発表する。 								
評価										
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の基準]				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 文の構造や文法事項を理解することができる。 情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話す内容や質問に対して、適切な相槌をうちながら、きちんと耳を傾けている。 自分の考えを積極的に伝えようとしている。 					○		○	○
評価方法	①		②			③				
	ア 定期考査 イ 小テスト ウ 提出物		ア 定期考査 イ 授業プリント ウ パフォーマンステスト			ア 授業での発表 イ 相互評価 ウ 提出物 エ ペアワークなどの参加状況				

令和4年(2022年)度 年間授業計画表									
学年	1	科・系	普通科	単位	2	教科	家庭	科目	家庭基礎
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「図説家庭基礎」実教出版 「図説家庭基礎 学習ノート」実教出版 								
学習目標	<p>(1) 生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。【知識・技能】</p> <p>(2) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。【主体的に学習に取り組む態度】</p>								
単元と内容									
1 学期	第1章 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生における青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解し、共に家庭を築くことの意義や重要性を考える。 							
	第2章 子どもとかかわる	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の心身の発達、基本的な生活習慣の形成や健康管理と安全への配慮などについて理解する。 子どもを取り巻く社会環境の課題や子育て支援の必要性について理解する。 							
	第3章 高齢者とかかわる	<ul style="list-style-type: none"> 身近な高齢者からの聞き取り活動や事例を見て、課題を考える。社会全体で高齢者を支える仕組みについて、具体的な事例を通して考察する。 							
	第4章 社会とかかわる	<ul style="list-style-type: none"> 共に支え合って生きる社会の考え方について理解する。 							
2 学期	第5章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 自分の食生活を振り返り、食べることと健康の関わり、食生活の変化と問題点について考える。 栄養的な特質により分類されることを理解し、栄養素のはたらきを考える。 							
	第6章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージや目的に応じた被服の機能と保健衛生上、生活活動上、社会生活上の機能を生かした適切な着装について理解する。 							
	第7章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 家族が安全で快適かつ健康な生活を営む場としての住居の機能や地域性、豊かな住まい方、環境に配慮した住まい方を考える。 							
3 学期	第8章 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した生活における経済の管理や不測の事態に備えた計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考える。 							
	第9章 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> 未成年と成年の法律上の責任の違いや契約の重要性、消費者保護、消費者被害の未然防止を理解する。 							
評価									
評価の観点		到達度目標「[B] (おおむね満足できる) の基準」	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		○		○		○	
②	思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する等、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。		○		○		○	
③	主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		○		○		○	
評価方法	①		②			③			
	<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊧振り返りシート ㊨学習ノート点検 ㊩実習 		<ul style="list-style-type: none"> ㊦定期考査 ㊧ワークシート ㊨ペアワーク 			<ul style="list-style-type: none"> ㊦ワンペーパーポートフォリオ ㊧ホームプロジェクト ㊨ループリックによる相互評価 			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・世界史A	2 (普通科)	2	世界の歴史 (山川出版社)	アカデメイア世界史(浜島書店) 富 山県教育委員会「高校生のためのふるさと富山」
科目の概要 と目標	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。			
単元	学習内容		到達度目標	
世界史へのい ざない 世界の諸文明	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と歴史 ・東アジア世界Ⅰ、Ⅱ ・南アジア世界 ・西アジア世界Ⅱ (イスラム教の誕生) ・ヨーロッパ世界Ⅰ、Ⅱ 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が人々の住居や行動様式に影響を与え、歴史の流れの方向を定めることになった事に気付く。 ・東アジア・南アジア世界の特質(中央集権体制, 律令体制, カースト制など)を理解できる。 ・イスラム世界の特質(イスラムの成立と特色, ネットワークの形成など)を理解できる。 ・ヨーロッパ世界の特質(キリスト教, 封建社会など)を理解できる。 	
世界の一体化の 始まり 近代の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代とアメリカ征服 ・北前船の活躍(郷土史学習) ・ルネサンス・宗教改革 ・絶対王政と議会王政 ・啓蒙とアメリカ独立 ・フランス革命・産業革命 ・ナポレオンとその帝国 ・ウィーン体制と自由主義改革 ・1848年革命とギリシア・フランス ・クリミア戦争とオーストリア ・ロシア ・イタリア統一とドイツ統一 ・アメリカ合衆国の発展 ・南アジア・東南アジアの植民地化 		<ul style="list-style-type: none"> ・16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の特質(新航路の開拓, 主権国家体制など)を理解できる。 ・18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命と, 社会の産業化と国民国家の形成により近代が確立したことを理解できる。 ・19世紀後半のヨーロッパ, アメリカ社会を通して, 自由主義と国民主義が進展していく様子とアメリカ文明の内容について理解できる。 ・ムガル帝国の崩壊などを通して, 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況など, 日本を含めたアジア諸国の動揺の様子を理解できる。 	
日本列島のな かの世界史 現代の始まり と帝国主義 二つの世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・生糸をはこぶ山手線 ・東アジアの開港と変動 ・東アジアの近代化の試み ・帝国主義の国際対立 ・日露戦争と韓国併合 ・動き出した越中人、日露戦争と富山県(郷土史学習) ・辛亥革命・第一次世界大戦 ・重化学工業の興隆(郷土史学習) ・ロシア革命 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・東アジアの民族運動 ・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・第二次世界大戦前夜の世界 ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦Ⅰ、Ⅱ 		<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカなどへの生糸輸出における国内鉄道網の発達をとりあげ日本の近代化と世界とのつながりに気付く。 ・アヘン戦争やアロー戦争などの過程を通して, ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況, 半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折, その中での日本の対応など, 東アジアの大変動の様子を理解できる。 ・第一次世界大戦と総力戦としての様相, ロシア革命とソヴィエト連邦の成立, 戦争と革命による国際秩序の変化, アメリカの大衆生活とその波及を通して, 20世紀初頭の変化の様相を理解できる。 ・世界恐慌が国際秩序に危機をもたらした新たな対立を生んだことを理解できる。 ・アジア諸国の民族運動の高揚に着目し, 国際社会の枠組みの変化を理解できる。 	
平和と冷戦 現代世界と日 本	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の開始 ・冷戦の激化と核戦争の危機 ・米ソの動揺と多極化する世界 ・冷戦の終結 ・情報社会 ・資源、食料、環境問題 		<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の世界を, 核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題と関連付けて考察できる。 ・冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因や歴史的背景を追究し, 国際社会の変化や国民国家の課題などについて考察できる。 ・現代世界の特質や課題に対する適切な主題を設定させ, 歴史的観点から資料を活用して探究し, 討論などの活動を通して世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望できる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・世界史B	2 (普通科)	4	詳説世界史B (山川出版社)	新詳世界史図説 (浜島書店)
科目の概要と目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。			
単元	学習内容		到達度目標	
世界史へのいざない 近世ヨーロッパの形成	自然環境と歴史 ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス 宗教改革 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成		<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動やそれがもたらす環境の変化に人々がどのように対応し、乗り越えてきたかを調べ理解する。 ・16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解できる。 ・産業革命と社会構造の変化という主題に対する資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得する。 	
近世ヨーロッパ世界の展開	重商主義と啓蒙専制主義 ヨーロッパ諸国の海外進出 17～18世紀のヨーロッパ文化と社会		<ul style="list-style-type: none"> ・東西ヨーロッパの絶対主義国家のあり方を理解し、重商主義政策と植民地争奪戦、近代世界の形成過程を把握できる。 	
近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン		<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスでの産業革命と世界の一体化が進んでいく過程を理解できる。 ・市民革命を大西洋を取り巻く一連の変化としてとらえ、市民社会の誕生について理解できる。 	
欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立 ヨーロッパの再編と新統一国家 南北アメリカの発展 19世紀欧米の文化		<ul style="list-style-type: none"> ・フランス革命の精神はナポレオンによってヨーロッパに波及したが、ウィーン体制の下で自由主義・国民主義の動きへと成長し、国民国家を形成する原動力となっていたことを19世紀の特徴として理解できる。 	
アジア諸地域の動揺	オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 南・東南アジアの植民地化 東アジアの激動		<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀のアジアの特質とその中での日本の位置付けを理解できる。 	
帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動		<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国による植民地化の過程を把握できる。 ・19世紀後期から20世紀初頭の、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解できる。 	
二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカの民族運動 世界恐慌とファシズムの侵略 第二次世界大戦		<ul style="list-style-type: none"> ・二つの大戦と総力戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界恐慌と全体主義の台頭、国際平和への模索とアジアの民族運動など、20世紀前半の世界の動向を把握し、社会の特質を理解できる。 	
冷戦と第三世界の独立	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 第三世界と米・ソの歩み寄り 石油危機と世界経済の再編		<ul style="list-style-type: none"> ・米・ソ冷戦の展開、アジア・アフリカの諸国の独立と紛争、平和共存の模索と多極化の進展を把握し、冷戦期の世界の動向を理解できる。 	
現代の世界	社会主義世界の変容とグローバル化の進展 地域紛争の激化と貧困		<ul style="list-style-type: none"> ・1970年代以降の世界と日本の動向を理解し、紛争の解決と平和の問題に関する主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、討論などの活動を通して世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望できる。 	
オリエントと地中海世界	古代オリエント世界 ギリシア世界 ローマ世界		<ul style="list-style-type: none"> ・オリエント文明の展開とイラン人の活動を中心に、西アジア世界の特質を把握できる。 ・ローマ帝国により地中海世界が形成されていたことを理解できる。 	
アジア・アメリカの古代文明	インドの古典文明 東南アジアの諸文明 中国の古典文明 南北アメリカ文明		<ul style="list-style-type: none"> ・今日に至るインド世界の骨格をなす宗教・社会構成・世界観がこの時代に形成されたことを理解できる。 ・中国社会に影響を与えた儒教が生まれた当時の時代背景・社会を理解できる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史A	2 (普通科)	2	高校日本史A 新訂版(実教出版)	図説日本史通覧(帝国書院)
科目の概要 と目標	①開国以後、明治維新を経て近代国家としての日本が急速に形成された過程を、国際環境と関連づけて理解します。 ②史料・図版を見ながら幅広い知識を身につけるとともに、今後の国際社会における日本の役割や、課題について考察します。			
単元	学習内容		到達度目標	
近代への変換 大日本帝国の形成 大日本帝国の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・異国船の接近と幕藩体制の動揺・蘭学と国学の普及 ・開国と社会の変動 ・尊皇攘夷から討幕へ ・明治維新と新政府の成立 ・文明開化と復古 ・地租改正と富国強兵 ・アジア外交と国境問題 ・民権思想と国会開設運動 ・私擬憲法と政党の結成 ・松方財政と民権運動の激化 ・大日本帝国憲法の制定 ・条約改正と立憲政友会の結成・朝鮮政変と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア 		<ul style="list-style-type: none"> ・欧米列強の帝国主義的政策で、他のアジア諸国が植民地化されていた中、日本は様々な課題を内包しながらも、近代国家として国際社会に加わっていった過程について理解できる。 ・西洋思想の流入にともない、知識層を中心に自由民権運動が展開され、政府との対立、融和を繰り返しながら、国民の間に広まったことを理解できる。 ・松方財政による急激なデフレ政策が、自由民権運動を変質させた一方で、資本主義経済の基礎を作ったことを理解できる。 ・不平等条約の改正が最重要課題となる中、法典の整備や富国強兵政策をとおして次第に中央集権体制が確立されていたことを理解できる。 	
両世界対戦間の世界と日本 十五年戦争と日本・アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争と朝鮮 ・朝鮮の植民地化 ・資本主義と寄生地主制 ・社会問題の発生 ・欧米文化と伝統文化の交錯 ・大正デモクラシー ・第1次世界大戦 ・日本資本主義の成長 ・米騒動と社会運動 ・普通選挙法と治安維持法 ・満州事変と「満州国」 ・日中戦争 ・第2次世界大戦と日本 ・アジア太平洋戦争 ・日本の敗戦 		<ul style="list-style-type: none"> ・日本が近代資本主義国家として成長していった過程を、日清・日露戦争、産業革命の進展と関連づけて考察できる。 ・国際社会において、大国の一員として重要な役割を担うことになった日本が、新たな世界秩序の構築にいかに関与し、参加していったかを考察できる。 ・明治憲法の民主的な運用の中で、大正デモクラシーが起こり、かつ文化、芸能が大衆に受け入れられていったことを理解できる。 ・日本が戦争に突入していった経緯について、世界恐慌時の各国の対応や、昭和恐慌、その後の外交関係などと関連づけて考察できる。 	
戦後改革と高度経済成長 現代の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後世界と日本 ・戦後復興と再軍備 ・サンフランシスコ平和条約 ・日米新安保条約 ・高度経済成長と公害 ・ヴェトナム戦争と沖縄 ・低成長への転換 ・経済大国と国民生活 ・世界の変動と国際関係 ・湾岸戦争後の世界と日本 ・バブル崩壊と政界再編 		<ul style="list-style-type: none"> ・GHQの占領下で、政治・経済の諸制度がどのように改められていったかを理解できる。 ・冷戦下における東側諸国の勢力伸長にともない、米国の占領政策に大きな転換が生じ、それが日本の経済復興に繋がっていったことを理解できる。 ・日本が経済大国となり、国際的地位を高めるとともに、冷戦終結によりさらに混迷が深まる国際社会において、日本に求められる役割について考察できる。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史B	2 (普通科)	4	詳説日本史B (山川出版社)	最新日本史図表 (第一学習社)
科目の概要と目標	①我が国の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけ考察します。 ②我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。			
単元	学習内容		到達度目標	
日本文化のあけぼの	1	文化の始まり	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境の変化や大陸の影響によって、日本列島に採集・漁労社会や稲作社会が成立し、次第にムラや小国を形成していったことを理解できる。 古代中国の史料・日本国内の遺跡・遺物などから当時の日本の様子を読みとることができる。 東アジアの政治情勢の変化や中国への留学生派遣が、ヤマト政権や律令政治の成立に影響を与え、さらに仏教文化が開花していったことを理解できる。 中国・朝鮮半島の政治的、文化的影響を受容しつつ、それを消化して独自の貴族文化に発展させていった過程を理解できる。 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	2	農耕社会の成立		
	3	古墳とヤマト政権		
	1	飛鳥の朝廷		
	2	律令国家への途		
律令国家の形成	2	律令国家への途	<ul style="list-style-type: none"> 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	3	平城京の時代		
	4	天平文化		
貴族政治と国風文化	5	平安王朝の形成	<ul style="list-style-type: none"> 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	1	摂関政治		
	2	国風文化		
中世社会の成立	3	地方政治の展開と武士	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境の変化や大陸の影響によって、日本列島に採集・漁労社会や稲作社会が成立し、次第にムラや小国を形成していったことを理解できる。 古代中国の史料・日本国内の遺跡・遺物などから当時の日本の様子を読みとることができる。 東アジアの政治情勢の変化や中国への留学生派遣が、ヤマト政権や律令政治の成立に影響を与え、さらに仏教文化が開花していったことを理解できる。 中国・朝鮮半島の政治的、文化的影響を受容しつつ、それを消化して独自の貴族文化に発展させていった過程を理解できる。 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	1	院政と平氏の台頭		
	2	鎌倉幕府の成立		
	3	武士の社会		
	4	蒙古襲来と幕府の衰退		
武家社会の成長	5	鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境の変化や大陸の影響によって、日本列島に採集・漁労社会や稲作社会が成立し、次第にムラや小国を形成していったことを理解できる。 古代中国の史料・日本国内の遺跡・遺物などから当時の日本の様子を読みとることができる。 東アジアの政治情勢の変化や中国への留学生派遣が、ヤマト政権や律令政治の成立に影響を与え、さらに仏教文化が開花していったことを理解できる。 中国・朝鮮半島の政治的、文化的影響を受容しつつ、それを消化して独自の貴族文化に発展させていった過程を理解できる。 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	1	室町文化の成立		
	2	幕府の衰退と庶民の台頭		
幕藩体制の確立	3	室町文化	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境の変化や大陸の影響によって、日本列島に採集・漁労社会や稲作社会が成立し、次第にムラや小国を形成していったことを理解できる。 古代中国の史料・日本国内の遺跡・遺物などから当時の日本の様子を読みとることができる。 東アジアの政治情勢の変化や中国への留学生派遣が、ヤマト政権や律令政治の成立に影響を与え、さらに仏教文化が開花していったことを理解できる。 中国・朝鮮半島の政治的、文化的影響を受容しつつ、それを消化して独自の貴族文化に発展させていった過程を理解できる。 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	4	戦国大名の登場		
	1	織豊政権		
	2	桃山文化		
幕藩体制の展開	3	幕藩体制の成立	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境の変化や大陸の影響によって、日本列島に採集・漁労社会や稲作社会が成立し、次第にムラや小国を形成していったことを理解できる。 古代中国の史料・日本国内の遺跡・遺物などから当時の日本の様子を読みとることができる。 東アジアの政治情勢の変化や中国への留学生派遣が、ヤマト政権や律令政治の成立に影響を与え、さらに仏教文化が開花していったことを理解できる。 中国・朝鮮半島の政治的、文化的影響を受容しつつ、それを消化して独自の貴族文化に発展させていった過程を理解できる。 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	4	幕藩体制の構造		
	1	幕政の安定		
幕藩体制の展開	2	経済の発展	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境の変化や大陸の影響によって、日本列島に採集・漁労社会や稲作社会が成立し、次第にムラや小国を形成していったことを理解できる。 古代中国の史料・日本国内の遺跡・遺物などから当時の日本の様子を読みとることができる。 東アジアの政治情勢の変化や中国への留学生派遣が、ヤマト政権や律令政治の成立に影響を与え、さらに仏教文化が開花していったことを理解できる。 中国・朝鮮半島の政治的、文化的影響を受容しつつ、それを消化して独自の貴族文化に発展させていった過程を理解できる。 古代史において特に重要な律令体制について、戸籍や計帳の仕組み・税制・土地制度史などの面から、多角的に把握することができる。 相次ぐ飢饉や伝染病の蔓延、激しい政争など社会不安が増大する中で、国家の保護のもと、「鎮護国家思想」に基づく仏教文化が成熟したことを理解できる。 律令体制の再建と蝦夷征討の2大政策の過程で律令が時代に適合するよう変質したことを理解できる。 貴族文化が成熟していく中で、漢詩をはじめとする、唐風の文化が吸収されていったことを理解できる。 藤原氏によって、日本独特の宮廷制度や文化が形成されていったことを理解できる。 遣唐使が廃止され国風文化が成立したことを理解できる。 地方政治の混乱の中から、武士が台頭してきたことを理解できる。 	
	3	元禄文化		
	3	元禄文化		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・地理B	2 (普通科)	2(理系) 4(文系 ・英語系)	新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	新編地理資料(東京法令出版) 新地理要点ノート(啓隆社)
科目の概要 と目標	<p>① 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界を地理的に認識する力を身につけます。</p> <p>② 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身につけます。</p> <p>③ 地図(地形図を含む)、統計、景観写真などから、様々な地理的事象を読みとる力を身につけます。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
第Ⅰ部 様々な地図 と地理的技 能 第Ⅱ部 現代世界の 系 統 地 理 的 考 察	1章 地理情報と地図 1節 現代世界の地図 2節 地図の種類と利用 3節 地理情報の地図化 2章 地図の活用と地域調査 1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴 2章 資源と産業 1節 産業の発達と変化 2節 世界の農林水産業 3節 食料問題 4節 エネルギー・鉱産資源 5節 資源・エネルギー問題 6節 世界の工業 7節 第3次産業 8節 交通・通信 9節 貿易	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な世界地図の特徴や用法について理解できる。 ・縮尺、地図記号、等高線の読みとりを基礎とし、既習の地形を地形図で読みとれるようになり、生活との関わりを考察できる。 ・各種の地形的特色を理解し、人間の生活とどのようにかかわっているのかを考察できる。 ・各地形の特徴を写真や図を通じて理解できる。 ・気温や風などの気候要素について理解できる。 ・世界の気候をケッペンの気候区分を用いてとらえ、植生や土壌との関わりも考察できる。 ・雨温図、ハイサーグラフの読みとりから、気候区分ができる。 ・日本の自然環境を世界の中の位置づけから理解できる。 ・自然と災害について考察できる。 ・世界の農業地域の区分に従いその特徴を理解できる。 ・日本の農業の特色を世界の農業との比較を通して理解できる。 ・世界の水産業・林業の特徴を理解できる。 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布、生産、消費の特色を理解できる。 ・様々な工業の特色、工業地域の特色、変化を理解できる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科・物理基礎	2 (普通科)	2	改訂版 物理基礎 (数研出版)	リード Light ノート物理基礎 (数研出版) フォローアップドリル物理基礎 運動の表し方・力・運動方程式 波・電気 (数研出版)
科目の概要と目標	物理的な事物・現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然の見方を育てます。			
単元	学習内容		到達度目標	
第1編 運動とエネルギー	物理基礎の授業について (はじめに)		・物理基礎の学習の意味を考える。	
	第1章 運動の表し方 1 速度 2 加速度 3 落体の運動		・直線上を動く物体について、変位や速度、瞬間の速度、速度の合成、相対速度について理解する。 ・直線運動における加速度の定義と、等加速度直線運動における3つの式を理解し、その運用に慣れる。 ・重力のみを受けた物体の運動は、加速度gの等加速度直線運動であることに気づき、自由落下・鉛直投射における式を理解し、その運用に慣れる。	
第2編 熱	第2章 運動の法則 1 力とそのはたらき 2 力のつりあい 3 運動の法則 4 摩擦を受ける運動 5 液体や気体から受ける力		・力の表し方を知り、摩擦力、弾性力、浮力について理解する。空間を隔ててはたらく力(重力など)を学ぶ。 ・平面上での力のつりあいについて理解する。 ・物体の運動を表す「運動の3法則」について理解し、どのように物体の運動は変化するかを直線運動を中心に学ぶ。 ・圧力は力と物理量が異なることに注意する。	
	第3章 仕事と力学的エネルギー 1 仕事 2 運動エネルギー 3 位置エネルギー 4 力学的エネルギーの保存		・物理の重要な概念である「仕事」「エネルギー」について定義を正確に把握し、理解する。 ・仕事と運動エネルギー、位置エネルギーとの関係を把握する。 ・力学的エネルギー保存の法則について理解する。	
第3編 波	第1章 熱とエネルギー 1 熱と熱量 2 熱と物質の状態 3 熱と仕事 4 不可逆変化と熱機関		・熱と温度の違いを理解し、分子の状態との関係から絶対温度や内部エネルギーについて学ぶ。 ・熱量の保存の法則を理解する。 ・日常生活で利用されるエネルギーにはさまざまな種類があることを知り、それらの変換とエネルギーの保存や熱効率について理解する。熱を伴う変化は不可逆であることを学ぶ。	
	第1章 波の性質 1 波と媒質の運動 2 波の伝わり方		・身の回りにはさまざまな波があることを知り、その基本的な性質や、縦波と横波の違いについて理解する。 ・波の独立性、重ね合わせの原理、定在波、反射について学ぶ。	
第4編 電気	第2章 音 1 音の性質 2 発音体の振動と共振・共鳴		・第1章で学んだ波の性質を音の場合について適用し波としての現象について学ぶ。 ・弦や気柱の振動が観察などにより定在波であることを把握させ、共振・共鳴現象についても観察などを通して理解する。	
	第1章 物質と電気抵抗 1 電気の性質 2 電流と電気抵抗 3 電気とエネルギー		・静電気の現象を演示実験の観察により、しっかり理解する。 ・金属中の電流が自由電子の流れであることを知り、向きと大きさ、またオームの法則について理解する。絶縁体や半導体の性質について学ぶ。	
第5編 物理学と社会	第2章 交流と電磁波 1 交流 2 電磁波		・電磁誘導の現象や交流発電機、交流から直流への変換の原理について理解する。電磁波の性質や種類について学習する。	
	第1章 エネルギーとその利用 第2章 物理学が拓く世界		・エネルギーの種類とその利用について学ぶ。特に電気エネルギーにおける原子力の活用や放射線の安全性について理解する。 ・日常生活における科学技術の様々な例を学ぶ。	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科 生物基礎	2 (普通科)	2	生物基礎 (数研出版)	リード Light ノート生物基礎 (数研出版) ニューステージ 新生物図表 (浜島書店)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった生物の基礎的な内容を学習します。 ・生物の多様性の法則に基づきながら共通性を見いだしていきます。 ・観察・実験を通して探究する能力を身につけます。 			
単元	学習内容	到達度目標		
1 生物の特徴	①生物の多様性と共通性 【観察】 原核生物と真核生物 ②エネルギーと代謝 【実験】 酵素の性質 ③光合成と呼吸 【実験】 光合成色素の分離	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は起源生物から共通性を保ちながら進化し、多様性が生じたことについて学ぶ。 ・身のまわりの細胞を光学顕微鏡で観察する。 ・多くの生物の細胞には核が含まれているが、核がない生物も身近にいることを知る。 ・エネルギーと代謝とATPの構造と役割について学ぶ。 ・呼吸と光合成のしくみと、酵素反応の関わりについて学ぶ。 ・ミトコンドリアと葉緑体はそれぞれ好気性細菌とシアノバクテリアが起源であることを学ぶ。 		
2 遺伝子とそのはたらき	①遺伝情報とDNA 【観察】 DNAの抽出 ②遺伝情報の発現 【観察】 バフの観察 ③遺伝情報質の分配 【観察】 体細胞分裂	<ul style="list-style-type: none"> ・DNA は二重らせん構造であり、含まれる塩基には相補性があることを学ぶ。 ・遺伝子の本体や DNA の構造が解明された経緯を理解する。 ・転写・翻訳を通して、遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。 ・生命現象に関わるタンパク質について学ぶ。 ・DNA が複製され分配されるしくみについて理解する。 ・だ腺染色体のバフを光学顕微鏡で観察し、細胞では必要な遺伝子のみが発現することについて理解する。 ・ゲノムとは、生物が生命活動を営むのに必要な遺伝情報であることを理解する。 ・細胞周期の各時間と観察される数との関係について実験を行い考察する。 		
3 生物の体内環境	①体液という体内環境 ②腎臓と肝臓 ③神経とホルモンによる調節 【観察】 心拍数の変化 ④免疫 【観察】 血液	<ul style="list-style-type: none"> ・体内環境を保つ上で、体液の成分や濃度が重要な役割を果たしていることを理解する。 ・血液の組成やそのはたらき (物質の運搬・食作用・血液凝固など) について学ぶ。 ・腎臓と肝臓の構造とはたらきについて学ぶ。 ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。 ・血糖濃度の調節と疾患について学ぶ。 ・免疫のしくみとそれに関わる細胞について学ぶ。 ・免疫に異常が生じた場合について学ぶ。 		
4 生物の多様性と生態系	①植生の多様性と分布 【観察】 校庭の植物 ②生態系とその保全 【観察】 水質浄化	<ul style="list-style-type: none"> ・植生の遷移は光や土壌などの変化が関係することを理解する。 ・生態系は生物と非生物的環境からなり、生物の環境形成作用により非生物的環境が変化することを学ぶ。 ・気温と降水量の違いにより様々なバイオームが成立する過程を知る。 ・日本の各地域や自分の住む地域のバイオームについて学ぶ。 ・生態系におけるエネルギーの流れと炭素や窒素などの物質の循環のしくみについて理解する。 ・人間の活動と生態系の保全についての様々な問題について考える。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科 地学基礎	2 (普通科)	2	地学基礎(実教出版)	「地学基礎・演習ノート」(実教出版) 「ニューステージ新地学図表」(浜島書店)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地学的な事象・現象に関する基本的な知識や現象を理解します。 ・身の回りの事象・現象を科学的に探究する方法を身につけます。 ・観察、実験を通して探究する能力と態度及び、科学的な自然観を身につけます。 			
単元	学 習 内 容	到 達 度 目 標		
序章 宇宙・地球・人間		<ul style="list-style-type: none"> ・地学基礎で学ぶ内容についての概要を把握する。 ・宇宙誕生から人類の出現までの流れを概観し理解する。 ・地学における時間的な感覚について理解する。 		
第1章 地球の構成と運動	1節 地球の形と大きさ 1 地球の形と大きさを調べる 2 地球の形	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な変遷も含めながら、現在の地球の大きさを測定する方法を理解する。 ・地球が回転楕円体であることを理解すると同時に、扁平率についても学ぶ。 		
	2節 地球内部の構成 1 地球内部の層構造 2 地球内部を構成する物質 3 地球を構成する物質	<ul style="list-style-type: none"> ・地球内部が地殻・マントル・核によって構成されていることを理解する。 ・地殻・マントル・核を構成する物質の組成を学ぶ。 		
	3節 火山と地震 1 火山活動 2 地震活動 4節 プレートの運動 1 プレートテクトニクス 2 大地形の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・火山の様式・火山噴出物・火山の形について学ぶ。 ・地震波の伝わり方・震度とマグニチュードについて理解する。 ・リソスフェアとアセノスフェアについて理解する。 ・造山運動や震源分布、火山分布から、プレートテクトニクスについて理解する。 ・プレート運動の基準としてホットスポットを学習する。 ・マントル対流からブルームテクトニクスも学習する。 ・世界の大地形はプレート運動によってできたことを理解する。 		
第2章 地球の変遷	1節 地層と化石 1 地層のつき方 2 地層構造の形成 3 化石と地質時代の区分	<ul style="list-style-type: none"> ・地質のつき方・河川の働き・地質の調べ方について学ぶ。 ・地殻変動やそれによる地質構造の変形を理解する。 ・地殻変動に伴う変成作用と変成岩について理解する。 ・示準化石と示相化石について学ぶ。 ・古生物の変遷と地球の歴史について理解する。 		
	2節 古生物の変遷と地球環境 1 初期生命と大気の変化 2 多様な生物の出現と脊椎動物の発展 3 哺乳類の繁栄と人類の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・地球誕生直後の地球環境から生物が生まれるまでの、地球環境の変遷を理解する。 ・生物の繁栄と衰退の歴史を、地球環境の変遷と関連付けながら学ぶ。 ・人類の出現と発展について理解する。 		
第3章 大気と海洋	1節 大気と海洋 1 大気と海洋の層構造 2 大気と海洋の動きと天気	<ul style="list-style-type: none"> ・気圧・大気の組成・大気と海洋の層構造を学ぶ。 ・天気の変化は大気と海洋の動きによるものであることを理解する。 		
	2節 大気の大循環 1 地球のエネルギー収支 2 大気の大循環 3 気象と気候値	<ul style="list-style-type: none"> ・地球のエネルギー収支や温室効果について学ぶ。 ・大気の大循環とそれに伴う熱の輸送について学び、天気図についても深く理解する。 ・日本周辺の気団と季節変化について学ぶ。 		
	3節 海洋の構造と海水の運動 1 海洋の層構造 2 海水の運動と循環	<ul style="list-style-type: none"> ・海水の温度調整や貯留槽の役割を理解する。 ・海水表層循環・深層循環・地球の水循環について理解する。 		
第4章 太陽系と宇宙	1節 太陽系の中の地球 1 太陽系の概観 2 太陽系の構成 3 太陽系の形成と地球の誕生 4 生命の星 地球	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の天体と広がりについて理解します。 ・太陽系を構成する惑星の性質や特徴を学ぶ。 ・太陽系の形成過程と原始地球の成長について学ぶ。 ・生命あふれる地球の特徴について学ぶ。 		
	2節 太陽とその進化 1 太陽の構造と活動 2 恒星としての太陽 3 太陽の誕生と進化	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽の表面・内部と地球への影響について理解する。 ・太陽の明るさ・質量・大きさについて学ぶ。 ・太陽の誕生とこれからの太陽について学ぶ。 		
	3節 宇宙のすがた 1 宇宙の誕生 2 銀河とその分布	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の誕生や物質の起源を学ぶ。 ・銀河系の構造や宇宙の大規模構造について学ぶ。 		
第5章 地球の環境	1節 日本の自然環境 1 日本列島がつくる自然の特徴 2 自然がもたらす災害と恩恵	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島の地形や自然について学ぶ。 ・地震・火山・気象による自然災害の予測と防災について学ぶ。 		
	2節 地球環境の科学 1 異常気象と気候変動 2 地球規模の物質循環 3 地球環境問題と未来の地球	<ul style="list-style-type: none"> ・近年多発する異常気象や気候変動について理解する。 ・地球環境における物質の循環、特に炭素循環について学ぶ。 ・深刻化する地球環境問題とこれからの地球の未来について考察する。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	2年 (普通科)	2	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	図説最新高等保健改訂版(大修館書店)、2021保健体育簿(富山県高体連)
科目の概要と目標	<p>①各運動の特性に触れ、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、生涯を通じて継続的に運動が実践できる資質や態度を育てる。</p> <p>②各種の運動の合理的な実践を通して運動の技能を高め、体力の向上を図る。</p> <p>③自ら進んで運動するとともに公正、協力、責任や、健康・安全に留意する態度を身に付ける。</p> <p>④班毎の目標や個人の課題が達成されるように練習を組み立て実行できるようになる。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
体づくり運動	・体ほぐし運動	・身体のかな部位を動かすことで心地よさや楽しさを味わうとともに、仲間との交流を深めることができる。		
スポーツテスト	・記録の測定	・スポーツテストを通じて現在の自分の体力レベルや体格を知り、今後の体育活動に生かせるようにする。		
選択 ①球技	・ソフトボール	・状況に応じたバットの操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができる。		
②球技	・ソフトテニス	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。		
選択 ①球技	・ソフトテニス	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。		
②球技	・ソフトボール	・状況に応じたバットの操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができる。		
体づくり運動	・体力を高める運動	・体力を高めるための運動の計画と実践を行うことができる。		
選択 ①陸上	・ハードル走	・スピードを維持した走りからハードルを短くリズムカルに越すことができる。		
②陸上	・リレー	・中間走の高いスピードを維持して速く走り、スムーズなバトンパスをすることができる。		
球技とダンス	男子：サッカー	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。		
	女子：創作ダンス	・表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で緩急強弱のある動きを使いながら即興的に表現できる。		
器械運動とダンス	男子：マット運動	・転回系や巧技系の基本的な技をなめらかに安定して行い、条件を変えた技、発展技をなめらかに行う。それらを構成し演技できるようにする。		
	女子：創作ダンス	・表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけ表現できる。		
球技とダンス	男子：卓球	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。		
	女子：創作ダンス	・表現したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、作品をまとめ、踊ることができる。		
体育理論	運動スポーツの学び方	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。		
体育理論	運動スポーツの学び方	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。		
選択 ①球技	・バスケットボール	・役割に応じたボールの操作と連携した動きによって相手コートの空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。		
②球技	・卓球	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・保健	2年 (普通科)	1	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	図説最新高等保健改訂版 (大修館書店)
科目の概要 と目標	<p>①個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付ける。</p> <p>②生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や施設を適切に活用することの重要性を理解する。</p> <p>③社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解する。</p>			
単元	学習内容		到達度目標	
生涯を通じる健康	1 思春期と健康		・思春期における心理面、行動面の変化に対応して異性を尊重し、性に関して適切な意志決定や行動選択が必要であることを理解できる。	
	2 性への関心・欲求と性行動		・男女における性意識の違いから性的欲求のあらわれ方の違いや、性に関する情報が性行動の選択に及ぼす影響について例をあげ説明できる。	
	3 妊娠・出産と健康		・受精・妊娠・出産の過程を学習し、出産期の健康のために留意すべき点を挙げるができる。	
	4 避妊法と人工妊娠中絶		・家族計画の意義と人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解できる。	
	5 結婚生活と健康		・健康な結婚生活を営むための留意点を、心身の発達の観点から説明できる。	
	6 中高年期と健康		・加齢にともなう心身の変化と健やかに過ごすための留意点や、高齢者の生活と健康に関する現状を学び、高齢社会に対応した保健制度などについて理解できる。	
生涯を通じる健康	7 医薬品とその活用		・医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて説明できる。	
	8 医療サービスとその活用		・さまざまな医療機関の役割や、サービスを受けるときの留意点を挙げるができる。	
	9 保健サービスとその活用		・保健行政の役割としくみについて説明できる。	
	10 さまざまな保健活動や対策		・民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例を挙げて説明できる。	
社会生活と健康	1 大気汚染と健康		・大気汚染について理解し、健康にどのような影響があるかを、例を挙げて説明できる。	
	2 水質汚濁、土壌汚染と健康		・水質汚濁や土壌汚染について理解し、健康にどのような影響があるかを、例を挙げて説明できる。	
	3 環境汚染を防ぐ取り組み		・環境汚染の特徴について学び、環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みを理解できる。	
	4 ごみの処理と上下水道の整備		・廃棄物処理の現状を知り、処理過程や上下水道の整備についての問題点や対策を具体的に挙げて説明できる。	
社会生活と健康	5 食品の安全を守る活動		<p>・食品の衛生管理のために、行政及び製造・生産者が行う対策を具体的に挙げるができる。</p> <p>・食品の安全性を確保するために、自分たち自身ができる対策について例を挙げるができる。</p>	
	6 働くことと健康		<p>・働くことと健康が相互に影響していることを理解できる。</p> <p>・労働災害の防止対策として、職場と個人がおこなうべき事柄について挙げるができる。</p>	
	7 働く人の健康づくり		<p>・職場の健康増進対策について説明できる。</p> <p>・余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。</p>	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・世界史B	3 (普通科)	3	詳説世界史B (山川出版社)	新詳世界史図説 (浜島書店)
科目の概要と目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。			
単元	学習内容	到達度目標		
内陸アジア世界・東アジア世界の形成 時間軸からみる諸地域世界	草原の遊牧民とオアシスの定住民 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 トルコ化とイスラーム化の進展 東アジア諸地域の自立化 モンゴルの大帝国 中国 - 世界帝国への道	<ul style="list-style-type: none"> ・遊牧社会、オアシス社会の特徴と騎馬民族国家の性格を理解できる。 ・隋・唐の律令国家の性格や盛唐期の周辺諸民族の動向、唐衰退期の東アジア文化圏統合の緩みを考察できる。 ・宋代の皇帝独裁体制、士大夫層の興隆等の社会の変革、内陸アジア諸民族の活動やモンゴルの征服の要因、その残した影響を理解できる。 ・中国が世界帝国になるまでの出来事を年代順に整理し、いくつかの段階にわけ、それぞれの因果関係を説明できる。 		
イスラーム世界の形成と発展 日常生活にみる世界の歴史 空間軸からみる諸地域世界	イスラーム世界の形成 イスラーム世界の発展 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 イスラーム文明の発展 イスラーム圏の女性の服装 近代以前の交流圏の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・世界三大宗教の1つであるイスラーム教の特徴やアラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成・拡大の過程を理解できる。 ・民族による衣服の差異を生活・文化との関連で理解できる。 ・イブン=バトゥータが訪れた都市を地図にまとめ、それぞれの地域の地域的差異と一体化へ向けての過程を考察できる。 		
ヨーロッパ世界の形成と発展	西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパの中世文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国と東ヨーロッパの展開、西ヨーロッパの封建社会の成立過程、十字軍の原因とその影響について学び、その過程で都市が発達し王権が伸張する様子を理解できる。 ・教皇を頂点とした西ヨーロッパ中世社会の変容、その中から中央集権を推し進めた国家は近代国民国家形成に向けて踏み出すことを理解できる。 		
アジア諸地域の繁栄 日本の歴史と世界の歴史のつながり	東アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域 トルコ・イラン世界の展開 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 貞享暦と授時暦	<ul style="list-style-type: none"> ・明・清帝国と朝鮮や日本との関係、東南アジア海域世界とティムール・オスマン帝国・サファヴィー朝などイスラーム世界の動向や変動の過程を理解できる。 ・アジア世界とヨーロッパ世界の相互交流、世界の一体化が進みつつある様子を考察できる。 ・江戸時代に伝わった暦について、その歴史的背景や由来について調べ、世界における暦の変遷について考察できる。 		
総復習	総合問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験や共通テストを中心とした過年度入試問題演習を中心に学び応用力を身につける。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史B	3 (普通科)	3	詳説日本史B (山川出版社)	最新日本史図表(第一学習社)
科目の概要と目標	①我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察します。 ②我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を 培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養いま す。			
単元	学習内容		到達度目標	
幕藩体制の動 揺	1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> 西洋諸国がアジアを植民地化していった背景や、やがて日本が組み込まれていく近代社会(資本主義社会)のしくみを理解できる。 幕末期の文化について、社会の変容と関連づけて理解できる。 		
近代国家の成 立	1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦 争 4 日露戦争と国際関係 5 産業産業の発展 6 近代文化の発達	<ul style="list-style-type: none"> 開国の衝撃を契機として、幕末の政治的激動がどのように進化したか理解できる。 藩閥専制政府のもとで実行された近代化政策の目的を理解できる。また、そうした近代化政策によって生じた影響や得られた成果を理解できる。 立憲政治をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係や、成立した明治憲法体制の特徴を理解できる。 政府の近代化政策と戦争をはじめとする国民への重圧との関係が説明できる。また、当時の政府がめざした政治と欧米の近代民主主義との間に隔たりがあったことを具体的に指摘できる。 様々な政治勢力とその政治方針、また関わった事件について内閣ごとに説明できる。 		
二つの世界大 戦とアジア	1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文 化 4 恐慌の時代 5 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の原因と経過、大戦が日本の社会や経済に及ぼした影響について理解できる。 軍部の台頭と政党政治を擁護する攻防がどのように展開したのかを、歴代内閣の成立と崩壊に関連づけて理解できる。 都市化と中産階級の成長を背景に誕生した市民文化の特徴について、事例を通して理解できる。 満州事変が日本の国際的孤立を招いたと同時に軍国主義への道を歩む契機となったことを理解できる。日中戦争やアジア・太平洋戦争へと至る経緯と、その問題点について理解できる。 		
占領下の日本	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	<ul style="list-style-type: none"> 非軍事化と民主化を要とするGHQの占領政策が戦後日本の社会や政治経済の基礎を築いたことと、戦後改革が実現したのは日本国民が積極的にそれを受け入れたからであることを理解できる。 日本が経済復興を果たすことができた理由や再軍備化への道程について、米ソの対立などの国際政治と関連づけて説明できる。 		
高度成長の時 代	1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	<ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長の終わりとともに、経済摩擦などの新たな課題が生まれ、政治構造の変化が生じたことを理解できる。 		
激動する世界 と日本	1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の 変容	<ul style="list-style-type: none"> 現在の日本が直面している多くの課題があることについて理解できる。 		

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・地理B	3 (普通科)	3	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新編地理資料(東京法令出版) 新地理要点ノート(啓隆社) ウィニングコンパス(東京法令出版)
科目の概要と目標	<p>① 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界を地理的に認識する力を身につけます。</p> <p>② 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。</p> <p>③ 地図(地形図を含む)、統計、景観写真などから、さまざまな地理的事象を読みとる力を身につけます。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
第Ⅰ部	3章 生活と地域 1節 世界の衣食住 2節 消費と余暇活動 3節 村落と都市	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住は、自然環境や社会条件により地域的差異があることを理解できる。 ・世界の言語と宗教についての基本的事項を確認する。 ・経済発展と消費や余暇活動との関連性を考察する。 ・村落の形態や歴史、都市の発達や機能について知る。 ・各国の自然、歴史、産業などを理解し、総合的に地域をとらえることができる。 ・オーストラリア、アメリカ合衆国の農業地域・資源分布・工業地域について地図上に表現できる。 		
第Ⅱ部 世界の諸地域	3章 国家規模の地域の調査 1節 アメリカ合衆国 2節 オーストラリア 3節 インド 4章 州・大陸規模の地域の調査 1節 西アジア・中央アジア 2節 ヨーロッパ 3節 東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・国境を越えて共通する自然、文化、産業などを理解し、地域の特色について理解できる。 ・各地域の民族(言語・宗教)分布が理解できる。 ・韓国や中国、ロシアの今後の動向を日本との関わりを含めて考察できる。 		
第Ⅲ部 グローバル化する現代社会	1章 近隣諸国の研究 1節 韓国の研究 2節 中国の研究 3節 ロシアの研究 2章 結びつきを強める現代世界の諸課題のとらえ方 3章 地図でとらえる現代世界 1節 地図化によって何がわかるのか 2節 地図化してとらえる南北問題 4章 地域区分でとらえる現代世界(アフリカ・ラテンアメリカの地誌含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家、国家群、世界の交通網、貿易の現状を理解できる。 ・統計地図を用いることのメリットを理解し、実際に統計地図を用いて、そこから南北問題などの特色を捉えることができる。 ・両地域については歴史的背景を考慮したり、自然環境と関連させたりしながら、地域の特徴を捉えることができる。 ・地球的な課題についての現状と課題を具体的な事例をふまえて考察できる。 ・都市問題、環境問題については、既習事項と関連づけながら、理解・考察できる。 		
第Ⅳ部 地球的な課題	1章 人口・食料問題 2章 都市・居住問題 3章 環境・エネルギー問題 4章 民族・領土問題	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の「宗教」や「地誌」の学習で獲得した基本知識を、再度確認のうえ学習を深める。 ・各問題については日本が抱える問題と現状についても取り上げ、近年のニュースをふまえ、考察する。 ・既習事項について再度確認をし、総合的に学習を深めることができる。 		
総まとめ	重要事項の再確認と総復習			

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	3年 (普通科文系英語系)	3	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	図説最新高等保健改訂版(大修館書店)、2020 保健体育簿(富山県高体連)
科目の概要と目標	①選択した運動種目の合理的な計画や実践を通して、生徒一人一人が運動の楽しさや喜びを味わえるようになる。 ②自己の能力・適性・興味・関心等に応じて運動を行い、楽しめるよう、計画し工夫する力を身に付ける。 ③生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身に付ける。			
単元	学習内容		到達度目標	
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 		<ul style="list-style-type: none"> ・多彩で手軽な運動や律動的な運動を通じて、動くことそのものの楽しさを体験し、心と体が一体となるような運動を行うことができる。 ・各種の運動を合理的に行い、さまざまなトレーニングによって体力を高める。 	
スポーツテスト	・記録の測定		・自己の体力・能力を把握する。	
ダンス	フォークダンス		・オクラホマミクサー、コロブチカを楽しく踊ることができる。	
選択制球技① (2単位)	選択制球技①と②から一種目ずつを選択、男女共修で授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・バスケットボール 		<ul style="list-style-type: none"> ・種目選択アンケート→種目選択→各自目標設定 ・グループ編成→試しのゲーム→グループ目標設定 ・グループ目標達成に向けた話し合い、役割分担の決定 ・各グループ学習計画の決定→学習計画に従った活動 ・活動結果の評価→学習計画の見直し ・各自の目標の評価 	
選択制球技② (2単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトテニス ・バドミントン ・卓球 		<ul style="list-style-type: none"> ・選択制球技①と同じ ・3種目ともダブルスのゲームを展開することができる。 	
選択制球技③ (1単位)	選択制球技③と④から一種目ずつを選択、男女共修で授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・フットサル ・フレッシュテニス 		・選択制球技①と同じ	
選択制球技④ (1単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーボール ・ソフトバレーボール 		・選択制球技①と同じ	
体育理論	・豊かなスポーツライフの設計		<ul style="list-style-type: none"> ・自由時間活用の観点からスポーツ活動の重要性を理解し、各ライフステージのスポーツ活動の特徴を挙げることができる。 ・豊かなスポーツライフの実現とその設計について理解する。 ・国や地方自治体のスポーツ振興施策を理解し、総合型クラブについて説明できる。 ・スポーツが引き起こす環境問題と環境保護について理解する。 	

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
保健体育・体育	3年 (普通科文系英語系)	3	最新高等保健体育改訂版 (大修館書店)	図説最新高等保健改訂版(大修館書店)、2020 保健体育簿(富山県高体連)
科目の概要と目標	①選択した運動種目の合理的な計画や実践を通して、生徒一人一人が運動の楽しさや喜びを味わえるようになる。 ②自己の能力・適性・興味・関心等に応じて運動を行い、楽しめるよう、計画し工夫する力を身に付ける。 ③生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身に付ける。			
単元	学習内容	到達度目標		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩で手軽な運動や律動的な運動を通じて、動くことそのものの楽しさを体験し、心と体が一体となるような運動を行うことができる。 ・各種の運動を合理的に行い、さまざまなトレーニングによって体力を高める。 		
スポーツテスト	・記録の測定	・自己の体力・能力を把握する。		
ダンス	フォークダンス	・オクラホマミクサー、コロブチカを楽しく踊ることができる。		
選択制球技① (2単位)	選択制球技①と②から一種目ずつを選択、男女共修で授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・種目選択アンケート→種目選択→各自目標設定 ・グループ編成→試しのゲーム→グループ目標設定 ・グループ目標達成に向けた話し合い、役割分担の決定 ・各グループ学習計画の決定→学習計画に従った活動 ・活動結果の評価→学習計画の見直し ・各自の目標の評価 		
選択制球技② (2単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトテニス ・バドミントン ・卓球 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択制球技①と同じ ・3種目ともダブルスのゲームを展開することができる。 		
選択制球技③ (1単位)	選択制球技③と④から一種目ずつを選択、男女共修で授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・フットサル ・フレッシュテニス 	・選択制球技①と同じ		
選択制球技④ (1単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーボール ・ソフトバレーボール 	・選択制球技①と同じ		
体育理論	・豊かなスポーツライフの設計	<ul style="list-style-type: none"> ・自由時間活用の観点からスポーツ活動の重要性を理解し、各ライフステージのスポーツ活動の特徴を挙げるることができる。 ・豊かなスポーツライフの実現とその設計について理解する。 ・国や地方自治体のスポーツ振興施策を理解し、総合型クラブについて説明できる。 ・スポーツが引き起こす環境問題と環境保護について理解する。 		